若者殺しの法則

Heiliger Krieg

さて、Life Chopsの管理人である私が考案し、提唱したい法則が「若者殺しの法則」です。

「若者殺しの法則」とは、アメリカでは若者を応援する人口の割合が８：２（科学的なデータは無し、日米の友人談話と私自身がアメリカで１３年、日本で１１年生活した肌感覚）であるのに対して、日本では数字が反転する。

ズバリ！日本はアンチ若者！

猫が猫じゃらしに夢中になる習性があるように、日本人は若者と言う出る杭を、杭が木の板の奥底まで埋まるように、一心不乱に快楽殺人鬼のようにその刃物で叩き続ける、そんなイメージですかね。

その反面、アメリカ人は若者に対して非常に友好的。「アンダードッグ」や「アメリカンドリーム」と言う言葉が代表するように、弱者を応援しがちな国民性であるからこそ、その火の意思が若者を応援する事へも伝染しているのでしょう。

さて、「若者殺しの法則」がエボラの如く日本で萬栄する理由ですが：

１．集団主義を乱す確率が高い若者を潰し、和を保つため

２．平等である事に対する異常なこだわりにより、自分が若い頃に潰された事、思うように生きる事が出来なかった事に対する恨みを若者にぶつけるため

３．純粋なる若者への嫉妬

今回の動画を作成したのは決して日本人の皆様をディスるためではないです。日本と言う国で生きる私と同じ出るピカピカの杭達に伝えたい「日本人とは、どのような国民なのか？」と言う事を。「若者殺しの法則」を知るだけで救われる魂もある、心の準備が出来る、

アメリカが淡水なら、日本は海水。大きく息を吸って、圧力が高い日本海に飛び込みましょう！そして、何をやるにせよ、目にしたい水景色があるのなら、深く潜って段々と圧力が強くなって押し潰れそうになっても、こちとらも一心不乱に潜り続ける事。

モチベーションアップの動画みたいになってしまいましたが、たまには、こう言う動画があっても良いかなと言う事で、和製アンソニー・ロビンズ（モチベーションスピーカー、心理学界のバットマン）が;提唱する「若者殺しの法則」でした。